

一年生 国語 学習プリント

一年 組 名前



文学的文章「花曇りの向こう」 作者 瀬尾まいこ

教科書P 26 ～ 33

○場面や登場人物の描写に着目して、内容を読み取る。
○人物の気持ちの変化をとらえ、題名にこめられた意味を考える。

① 一行空いている部分に着目して作品を四つの場面に分け、それぞれの時・場所・登場人物を確かめましょう。

場面	時	場所	登場人物
一			
二			
三			
四			

② 教科書本文を読んで、人物の気持ちの変化をとらえましょう。
① それぞれの場面の「僕」の気持ちが変わる様子や行動、会話を押さえ、そこに表れた気持ちを考えましょう。

場面	様子や行動、会話	「僕」の気持ち
一		

二	三	四

② 冒頭と結末の場面を比べ、「僕」の気持ちの変化が表れている風景や物を探しましょう。

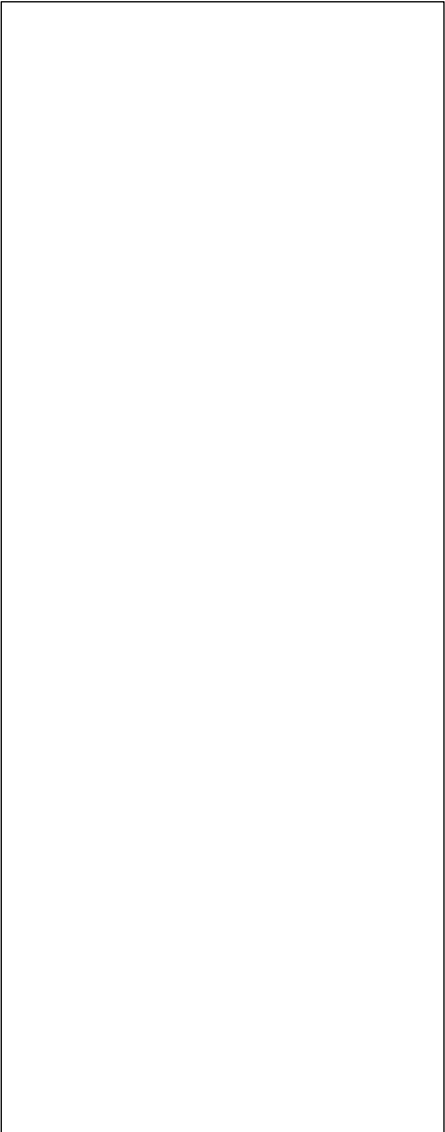
冒頭	結末
----	----

③ 「僕」の気持ちの移り変わりを整理し、この作品の題名にこめられた意味を考えましょう。

--

教科書P 33 「学習の窓」をヒントにして書きましょう。

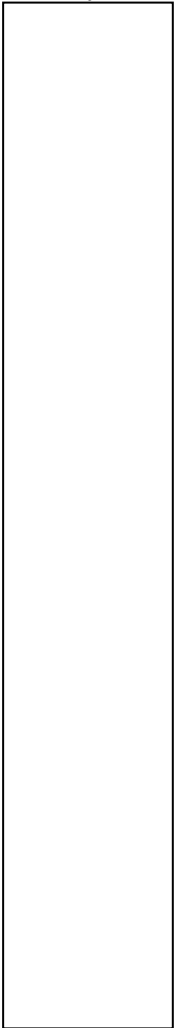
3 「僕」のものの方や感じ方などで共感できるところはないか考えましょう。



4 作品の中に出てくる、次の言葉の意味を国語辞書で調べましょう。

■ 通算

《意味》



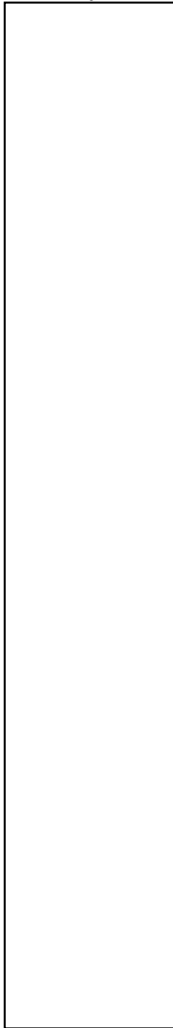
■ 持て余す

《意味》



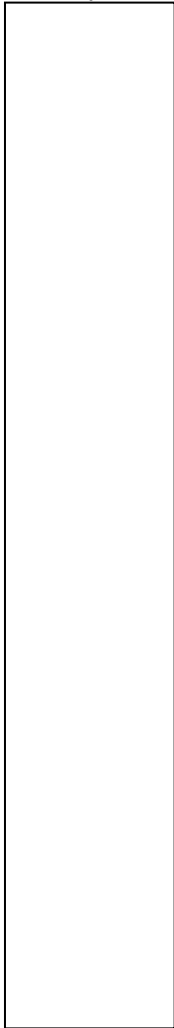
■ 放棄

《意味》



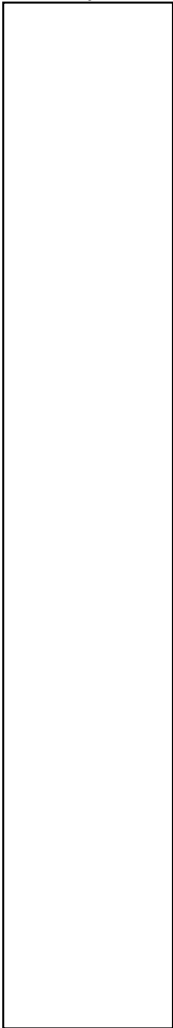
■ か細い

《意味》



■ やり過ごす

《意味》



■ たどたどしい

《意味》

Blank box for writing the meaning of 'たどたどしい'.

5

作品の中に出てくる、次の言葉を使って例文を作りましょう。

■ はやる

《例文》

Blank box for writing an example sentence using 'はやる'.

■ とどこおる

《例文》

Blank box for writing an example sentence using 'とどこおる'.

6

作品の中に出てくる、次の漢字や読みを書きましよう。

くも

Blank box for writing the kanji for 'くも'.

る

しる

Blank box for writing the kanji for 'しる'.

みそ

Blank box for writing the kanji for 'みそ'.

さえる

お

Blank box for writing the kanji for 'お'.

ボク

Blank box for writing the kanji for 'ボク'.

ヤッ

Blank box for writing the kanji for 'ヤッ'.

カイ

欲しがる

Blank box for writing the kanji for '欲しがる'.

しがる

カン

Blank box for writing the kanji for 'カン'.

セイ

おさ

Blank box for writing the kanji for 'おさ'.

える

ぬ

Blank box for writing the kanji for 'ぬ'.

け落ちる

カ

Blank box for writing the kanji for 'カ'.

シ

ヨウ

Blank box for writing the kanji for 'ヨウ'.

チ

エン

提げる

Blank box for writing the kanji for '提げる'.

げる

たな

Blank box for writing the kanji for 'たな'.

おれ

Blank box for writing the kanji for 'おれ'.

ふ

Blank box for writing the kanji for 'ふ'.

り返る

お

Blank box for writing the kanji for 'お'.

シ

一年生 国語 学習プリント

一年 組 名前



文学的文章「花曇りの向こう」 作者 瀬尾まいこ

教科書 P 26 ~ 33

○場面や登場人物の描写に着目して、内容を読み取る。

○人物の気持ちの変化をとらえ、題名にこめられた意味を考える。

① 一行空いている部分に着目して作品を四つの場面に分け、それぞれの時・場所・登場人物を確かめましょう。

場面	時	場所	登場人物
一	朝食時	ばあちゃんの家	ばあちゃん 僕(明生)
二	登校後	学校 教室	川口君 級友たち 僕
三	体育の授業	体育館	山崎君 僕
四	放課後	ばあちゃんの家 ↓ 駄菓子屋	家 駄菓子屋 ばあちゃん 僕 おじいさん 僕 川口君

② 教科書本文を読んで、人物の気持ちの変化をとらえましょう。
 ① それぞれの場面の「僕」の気持ちが変わる様子や行動、会話を押さえ、そこに表れた気持ちを考えましょう。

場面	様子や行動、会話	「僕」の気持ち
一	・「胃が痛いんだ」 ・「簡単にいくわけないだろ」	例 気が重く、やる気が起こらない。 例 自分の思うようにならず、腹立たい。

二	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはよ」とついでにやきながら ・今日も生ぬるい息をはいた。 	<p>例 照れくさくわずらわしい。</p> <p>例 重苦しくうんざりした気持ち。</p>
三	<ul style="list-style-type: none"> ・俊敏に体を動かした。 ・ねらいを定めて、するどいボールを放った。 	<p>例 やれるだけやってみよう。</p> <p>例 どうか「僕」の思いに添えてほしい。</p>
四	<ul style="list-style-type: none"> ・「別に行きたくないけど」 ・みんながいるかもしれないから… ・反対方向の… ・どこかおりそうな空気を、ふっ切るように、 	<p>例 もうどうでもいい。投げやりな気持ち。</p> <p>例 他人に気を遣うことから逃げ出したい。</p> <p>例 相手はどうであれ、もう気にしないで、思い通りにしよう。</p>

② 冒頭と結末の場面を比べ、「僕」の気持ちの変化が表れている風景や物を探しましょう。

<p>冒頭</p> <p>「梅干し」</p> <p>何でも梅干しでよくなると思っている</p> <p>「花曇り」</p> <p>晴れることを放棄したようなぼやけた空</p>	<p>結末</p> <p>「梅干し」</p> <p>あまずっぱい梅干し</p> <p>「花曇り」</p> <p>最近続いているぼんやりとした花曇りだ</p>
--	--

③ 「僕」の気持ちの移り変わりを整理し、この作品の題名にこめられた意味を考えましょう。

例 引越してきた「僕」は、うまくいかない毎日が続きもやもやしている。けれど、放課後の駄菓子屋での出来事をきっかけに、気持ちを前向きにして明日への希望をもつようになっていく。なんとなくうまくいかない「花曇り」のような時もあるけれど、きっといつかは晴れるという意味が込められている。

3 「僕」のものの見方や感じ方などで共感できるところはないか考えましょう。

例 新しいクラスになって早くみんなと仲良くなりたいたのに、なかなか話しかけられずにもやもやしていたけれど、思い切って話しかけたらだんだんと仲良くなれた。だから、「僕」のもやもやしている気持ちや、期待している気持ちがよく分かる。

- ・新しい環境で、期待したり、不安に思ったりしたこと
- ・自分が思うように話したり、行動したりできなかったこと
- ・思い切って行動して、気持ちがすっきりしたことなど

4 作品の中に出てくる、次の言葉の意味を国語辞書で調べましょう。

■ 通算

《意味》例 全部合わせて計算すること

■ 持て余す

《意味》例 どうあつかえばよいか、困る

■ 放棄

《意味》例 投げ捨てて気にかけないこと

■ か細い

《意味》例 細くて弱々しい

■ やり過ぎ

《意味》例 何もせず、過ぎるままにして放っておく

■ たどたどしい

《意味》

例 確かでなく危なっかしい

5 作品の中に出てくる、次の言葉を使って例文を作りましょう。

■ はやる

《例文》

例 試合の前日で気持ちがはやる。(早く早くと、勇み立つ)

■ とどこおる

《例文》

例 作業の流れがとどこおる。(行き詰まる 動かない)

6 作品の中に出てくる、次の漢字や読みを書きましよう。

■ 曇る (くも)

■ みそ汁 (しる)

■ 押さえる (お)

■ 僕 (ボク)

■ 厄介 (ヤツ カイ)

■ ほしがる (欲しがる)

■ 歓声 (カン セイ)

■ 抑える (おさ)

■ 抜ける (ぬ)

■ お菓子 (お カ シ)

■ 幼稚園 (ヨウ チ エン)

■ さげる (提げる)

■ 棚 (たな)

■ 俺 (おれ)

■ 振り返る (ふ)